

令和元年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 歴史博物館

評価基準 (達成度)	達成 (目標値 ≥ 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 ≥ 80%)	△
	未達 (目標値 < 80%)	×

○全館共通項目

	取組の内容 ※「1年間の目標値」欄下部の番号は当館個別評価の対応箇所		自己点検 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館等が「達成値」へ大きな影響を与えた項目については「達成度」を「-」とした		
	1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	課題・対応の方向
利用者満足度	90% (かながわブランドデザイン第3期素案PJ14の指標(県立社会教育施設利用者満足度2022年度90%)を参考とした目標値)	・アンケートを実施し、意見を活用して改善を行う。	96.8% (107.6%) ※R1年度の当館満足度総計のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計	○	・今後は対面アンケートも活用しつつ、当館への様々な意見を収集・検討・反映するよう努め、充実した展示や催し物を企画・実施していくことで利用者満足度の維持を図る。
	(H26,27,30 3か年平均) 147,400人	・集客力ある展覧会や各種事業の実施	113,331人 (76.9%) ※台風19号の影響により、10月12,13日は臨時休館 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため3月4日から臨時休館 【参考：1月までの集計】 令和元年度：107,116人 平成30年度：102,594人	-	・新型コロナウイルスの影響で、イベント等が中止になる前の1月までの入館者数は、台風19号の影響による臨時休館があったにもかかわらず、前年度比で4,522人増加した。 ・これは利用者層のニーズに合った展示・教育普及事業や、効果的な広報を実施できたことによるものと考えられる。なお、新型コロナウイルスの影響がなければ、入館者数は13万人程度と想定される。(*) ・引き続き、魅力ある展覧会・催し物を企画・実施するとともに、当面の間、臨時休館が継続するため、休館中でも当館の魅力を伝えられるよう広報を工夫する。
利用状況			右欄(*)について 2~3月に特別展を開催した平成26,27年度2~3月の入館者数が3万人超、同時期に特別展がなかった平成30年度が同1.9万人程度だったことを踏まえると、3月まで特別展を予定していた令和元年度の年間入館者数は13.2万人程度と想定される。		

教育・普及事業への参加者	8,700人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行事名</th> <th>件数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座・講演会等</td> <td>37</td> <td>2,555</td> </tr> <tr> <td>展示解説</td> <td>53</td> <td>1,060</td> </tr> <tr> <td>体験教室・見学会</td> <td>22</td> <td>1,340</td> </tr> <tr> <td>ミュージアムコンサート</td> <td>2</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>ミュージアムミッション</td> <td>1</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>学んでたのしむはくぶつかん</td> <td>1</td> <td>610</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>116</td> <td>7,205</td> </tr> <tr> <td>出張講座</td> <td>15</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>131</td> <td>8,705</td> </tr> </tbody> </table>	行事名	件数	参加者数	講座・講演会等	37	2,555	展示解説	53	1,060	体験教室・見学会	22	1,340	ミュージアムコンサート	2	140	ミュージアムミッション	1	1,500	学んでたのしむはくぶつかん	1	610	計	116	7,205	出張講座	15	1,500	総計	131	8,705	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行事名</th> <th>件数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座・講演会等</td> <td>44</td> <td>2,290</td> </tr> <tr> <td>展示解説</td> <td>55</td> <td>2,002</td> </tr> <tr> <td>体験教室・見学会</td> <td>20</td> <td>1,230</td> </tr> <tr> <td>ミュージアムコンサート</td> <td>2</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>ミュージアムミッション</td> <td>1</td> <td>1,616</td> </tr> <tr> <td>学んでたのしむはくぶつかん</td> <td>1</td> <td>701</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>123</td> <td>7,948</td> </tr> <tr> <td>出張講座</td> <td>11</td> <td>1,248</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>134</td> <td>9,196 (105.7%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 ※台風19号による中止 講座・講演会等1件(定員20名)、展示解説1件(定員20名) ※新型コロナウイルス感染症感染予防による中止 講座・講演会等3件(定員210名)、展示解説4件(定員80名)、体験教室・見学会19件(定員395名)、学んでたのしむはくぶつかん全23日間</p>	行事名	件数	参加者数	講座・講演会等	44	2,290	展示解説	55	2,002	体験教室・見学会	20	1,230	ミュージアムコンサート	2	109	ミュージアムミッション	1	1,616	学んでたのしむはくぶつかん	1	701	計	123	7,948	出張講座	11	1,248	総計	134	9,196 (105.7%)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・台風19号や新型コロナウイルスの影響のため、28件の行事(定員725名分)等を中止したにもかかわらず、目標を達成できた。 ・今後も魅力ある講座・講演会、体験教室等の催し物を企画・実施し、教育・普及事業への参加及び当館への来館を促す。
	行事名	件数	参加者数																																																														
	講座・講演会等	37	2,555																																																														
展示解説	53	1,060																																																															
体験教室・見学会	22	1,340																																																															
ミュージアムコンサート	2	140																																																															
ミュージアムミッション	1	1,500																																																															
学んでたのしむはくぶつかん	1	610																																																															
計	116	7,205																																																															
出張講座	15	1,500																																																															
総計	131	8,705																																																															
行事名	件数	参加者数																																																															
講座・講演会等	44	2,290																																																															
展示解説	55	2,002																																																															
体験教室・見学会	20	1,230																																																															
ミュージアムコンサート	2	109																																																															
ミュージアムミッション	1	1,616																																																															
学んでたのしむはくぶつかん	1	701																																																															
計	123	7,948																																																															
出張講座	11	1,248																																																															
総計	134	9,196 (105.7%)																																																															
アクセスマネット	(H26,27,30 3か年平均) 864,000件	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの安定的な管理運用を行う。 ・ホームページの適宜更新を行い、最新のわかりやすい情報提供に努める 	1,304,176件(150.9%)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの安定的な管理運用を継続するとともに、ホームページの適宜更新を行い、最新のわかりやすい情報提供に努める。 																																																												
資料・収蔵品	活用 (特別利用) (H26,27,30 3か年平均) 240件 620点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料の特別利用について、申請者に適切な指導を行い、事務手続を円滑に遂行する。 	225件(93.8%) 597点(96.3%)	△	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、申請者に適切な指導を行い、事務手続を円滑に遂行していく。 																																																												
	(常設展示室 における展示) (H30実績) 約1,460件	<ul style="list-style-type: none"> ・再開館当初の展示資料数約900件をベースに、年6日設けられた常設展のための資料整理休館日を活用して約560件を入れ替え紹介する。(ただし、このほかに特別展に展示する館蔵資料もある。) 	1,275件(87.3%)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時休館により、随時行っている展示替えの一部が実施できなかったため、実績は前年度を下回った。 ・引き続き、積極的な展示替えを継続し、トピック展示、特別展やコレクション展の関連資料展示など、各テーマで工夫を加えて、より魅力ある常設展示を目指していく必要がある。 																																																												
	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・自然的要因を除く毀損(汚破損)の防止。 ・計画的な資料修繕。 	<ul style="list-style-type: none"> ・IPM(総合的害虫管理)を継続する。 ・資料受け入れ時に適切な保存処置を行う。 ・必要に応じて薬剤燻蒸を実施する。 ・緊急性などを考慮したうえで、修繕計画を適宜見直し、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毀損(汚破損)等の事故はなかった。 ・計画に基づき、修繕を遅滞なく実施した。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕計画に記載した資料から優先順位をつけて修繕しているため、関連資料群の一括修繕は難しい状況にある。当初の計画策定から時間が経っていること、また、まとまりのある資料群の修繕が進捗しつつあることから、計画の見直しを進める必要がある。 																																																											

調査研究	研究成果の公開 (発表・印刷物等)	(常勤学芸員13名×5件、非常勤学芸員3名×4件) 77件	・科学研究費助成事業等の研究助成も積極的に活用し、研究論文・展示・各種講座等により、研究成果の幅広い発信に努める。	186件 (241.6%)	○	・研究活動のさらなる充実には、研究費の確保と研究環境の整備が課題となる。 ・今後も外部研究資金の積極的な獲得により、研究のクオリティを保っていく。
情報発信	事業情報の発信	(H26,27,30 3か年平均) 620件	・ホームページ(ツイッター含む)を活用した情報提供や刊行物、マスメディア(紙・電波媒体、ネット)による情報発信	804件 (129.7%) 【内訳】 ・HP(ツイッター)344件 ・チラシ・ポスター12件(特展8、コレ展2、特陳2) ・催し物のご案内1件 ・催し物のお知らせ2件 ・博物館だより3件 ・その他442件(新聞139、雑誌42、単行書1、テレビ20、ラジオ9、WEB178、その他53)	○	・従前と同様、優先順位をつけた効果的な広報を実施するとともに、ホームページやツイッター、無料掲載可能な外部広報媒体を活用した広報を展開し、タイムリーな情報の発信に努める。 ・また、新聞社等マスコミの取材を誘引するため、きめ細やかな情報提供をしていく。
施設運営等	観覧料収入及び事業収入	(H31予算書の収入積算額) 23,865千円	・来館者増につながる展示会の開催など各種事業の実施	16,053千円(67.3%)	—	・台風19号や新型コロナウイルスの影響による臨時休館が観覧料収入減少の一因と考える。引き続き、集客力のある魅力的な展示会等を実施し、収入増に結びつける。
	施設点検	高齢の来館者への配慮	・展示解説の読みやすさや館内の休憩スペース等高齢者の視点に沿った点検を行う。	・グラフィックパネル11枚更新	○	・グラフィックパネルの更新を計画どおりに実施するとともに、他の懸案の解消に努める。
	自己研鑽及び他館の研究	文化庁等関係各機関が実施する研修に積極的に参加し、専門能力の向上を図る。	・可能な限り、各学芸員の専門能力を高めるための研修参加や他館の研究を推進する。	・文化庁主催の指定文化財企画・展示セミナー等に参加した。 ・川崎市市民ミュージアムのレスキュー活動に参加し、資料救出に関する専門的技術を現場で学んだ。 (緊急事態として加盟する神奈川県博物館協会を通して派遣)	△	・学芸員の自主的な活動の中で研鑽を積んでおり、取組を継続的に実施していく。なお、特に県外で実施される専門的な研修等への参加の機会を失しないための工夫も必要である。

注) 各論は各館独自の取組みを中心に評価項目や指標を設定する。